

# 岩手医科大学附属病院の 両立支援に関する取り組み

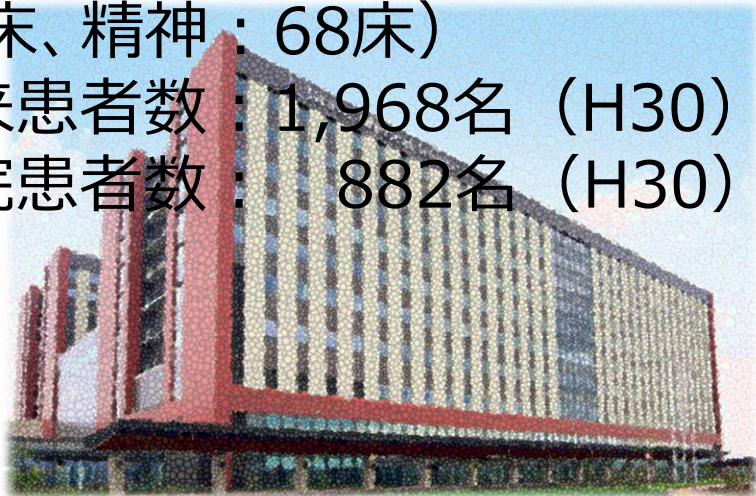


1897年に私立岩手病院と医学講習所を創立して以来、岩手の地において高度医療、医学教育、医学研究に邁進し、2017年に創立120年を迎えました。

2019年9月21日に病院本体が矢巾町に移転いたしました。今後も県内唯一の特定機能病院として、高度医療提供の役割を担っていきます。同時に内丸には、これまでの内丸の施設・設備を利用した迅速な検査・診断を行う高度外来機能病院として内丸メディカルセンターが開院しました。

## 岩手医科大学附属病院（矢巾）

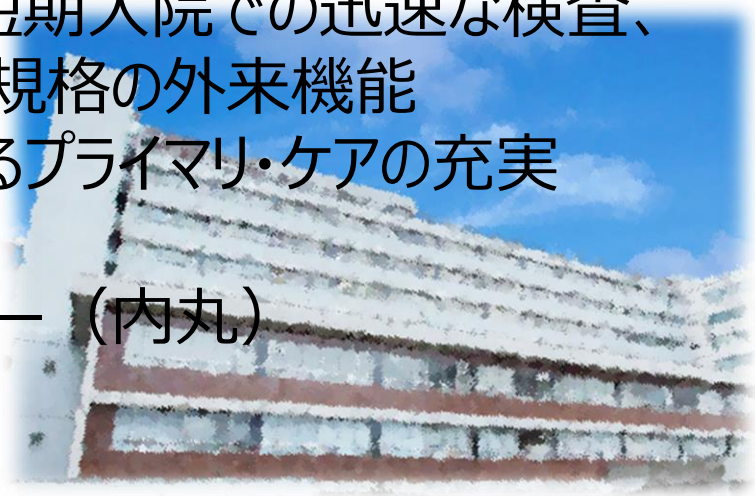
- ・総病床数 1000床  
（一般：932床、精神：68床）
- ・1日平均外来患者数：1,968名（H30）
- ・1日平均入院患者数：882名（H30）



## 内丸メディカルセンター（内丸）

- ・総病床数 50床
- ・日帰りまたは短期入院での迅速な検査、診断を行う高規格の外来機能
- ・総合的に診るプライマリ・ケアの充実

## 歯科医療センター（内丸）



# 医療福祉相談室（患者サポートセンター内）

患者さんの療養に伴い生じる社会的、経済的、心理的問題に関して、医療ソーシャルワーカー等がご相談をお受けしております。患者さんやご家族と話し合い、一緒に考えながら、安心して療養ができるようお手伝いさせていただきます。相談は無料です。

## ＜主な相談内容＞

- ・療養中の心理的、社会的問題に関する相談
- ・退院に関する相談
- ・社会復帰に関する相談
- ・受診、受療に関する相談
- ・経済的問題に関する相談
- ・病院へのご意見、苦情等の対応

## ＜専門相談＞

- ・がん相談支援センター
- ・難病医療提供体制整備事業
- ・肝疾患相談センター
- ・エイズ中核拠点病院
- ・認知症疾患医療センター

ソーシャルワーカー	10名
難病診療コーディネーター	2名

～がんについての悩みや不安を話してみませんか～  
**いわてのがん相談支援センター**



**県内のがん相談支援センター**  
(がん診療連携拠点病院) 平成31年3月現在

- 1 岩手医科大学附属病院 (盛岡市)  
019-651-5677 (直通)
- 2 県立中央病院 (盛岡市)  
019-653-1151 (代表)
- 3 県立中部病院 (北上市)  
0197-71-1511 (代表)
- 4 県立胆沢病院 (奥州市)  
0197-24-4121 (代表)
- 5 県立磐井病院 (一関市)  
0191-23-3452 (代表)
- 6 県立大船渡病院 (大船渡市)  
0192-26-1111 (代表)
- 7 県立釜石病院 (釜石市)  
0193-25-2011 (代表)
- 8 県立宮古病院 (宮古市)  
0193-62-4011 (代表)
- 9 県立久慈病院 (久慈市)  
0194-53-6131 (代表)
- 10 県立二戸病院 (二戸市)  
0195-23-2191 (代表)

**がん診療連携拠点病院**  
全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、厚生労働省が指定した病院です。専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援及び情報提供等を行っています。

○その病院に通院していない患者さんやご家族も利用できます。

# がん相談支援センターの役割

＊ 良質のがん情報や支援情報を提供し、  
相談者の知ることを支援する

- ・検査、治療、副作用
- ・経済的負担や支援について
- ・がんの予防や検診について
- ・療養生活の過ごし方
- ・医療者とのコミュニケーション
- ・社会との関わり (職場や学校)
- ・家族との関わり
- ・患者さんやご家族の心のこと
- ・緩和ケアについて

など



# 医療機関ができる就労支援 ～これまで～

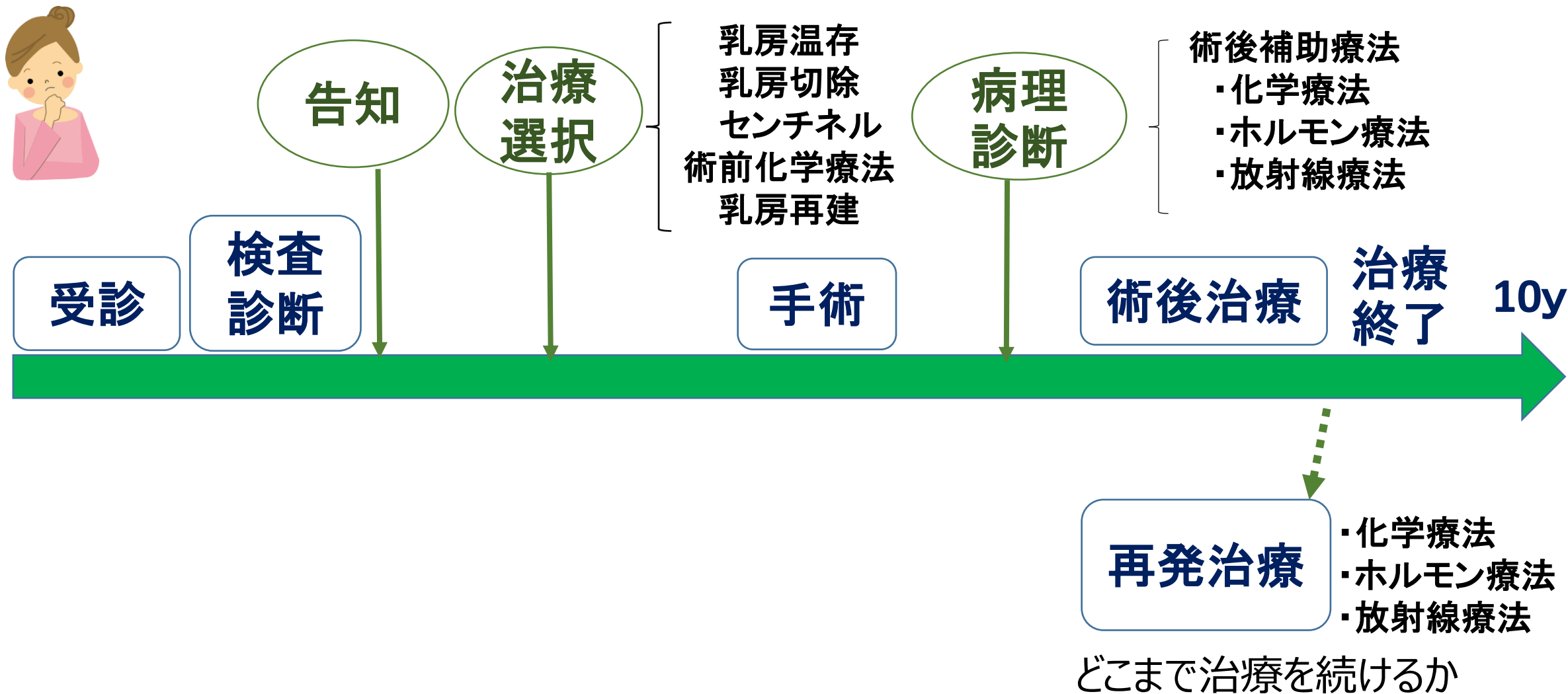
## 医師・看護師・MSW

- ✓ 症状緩和
- ✓ 治療スケジュール・副作用症状などのイメージ・見通しがつくように具体的に（標準治療・経過）伝える
  - ・手術療法は・・・、抗がん剤治療は・・・、放射線治療は・・・
- ✓ 他患者の体験（どのように工夫したかなど）を伝える
- ✓ 外見の変化に対する支援（脱毛対策などの情報提供）
- ✓ 治療・家族関係・職場環境などを一緒に状況を整理する
- ✓ 慌ててやめないと伝える
- ✓ 職場と患者と医師の仲介役

# これからは、両立支援 ～乳がんの事例～



# 乳がん患者さんの一般的な経過 (選択肢が多い、治療が長期に渡る)



# 乳がん患者さんの特徴的問題 (特に、生活や就労に関連するもの)

- ✓ 50歳前後が好発年齢であり、ライフサイクルの上での役割が大きい
- ✓ 20歳代、30歳代の患者は結婚や妊娠・出産への不安が大きい
- ✓ 治療後10年間フォローが必要
  - ・再発・転移への不安が続く
  - ・医療費の負担が大きい
- ✓ 治療方法の選択肢があり、患者の意思決定が求められる
- ✓ 治療によりボディイメージの変化が起こりやすい



# 仕事・家庭の中で多様な役割を担う年代



仕事



娘



育児



妻  
母親



介護




家事

# 治療に伴う身体症状の苦痛 TOP20（乳がん）

女性124人

順位	症状	順位	症状
1	脱毛	11	便秘
2	手術による乳房切除	12	足の爪のはがれ
3	吐き気・嘔吐	13	だるさ
4	指のしびれ	14	口内炎
5	全身の痛み	15	発熱
6	まゆ毛の脱毛	16	足のむくみ
7	まつ毛の脱毛	17	手の爪のはがれ
8	手術による身体の表面の傷	18	味覚の変化
9	手の爪の割れ	19	顔のむくみ
10	手の爪の二枚爪	20	しみ・くま

 外見症状を指す

① 基本情報

Aさん 女性 50歳

② 紹介経路

X年5月、看護師から促されて本人来室  
主訴：治療に関する経済的な面について相談したい

③ 診断名

右乳がん（X-1年4月初診） ステージⅡA

④ 家族状況

ひとり暮らし。夫とは死別。B市に長女（社会人）がいる

\* 個人情報保護の観点より、大意には差し支えない程度に内容の改変を行っています。



# Aさんの治療

乳房部分切除  
腋窩郭清なし

術後補助療法(化学療法)

放射線療法

ホルモン療法

再発治療  
抗がん剤治療  
ホルモン療法  
放射線治療 等

期間？

経過観察

入院7日間

3週毎 4クール+4クール  
(計8クール)

おおよそ半年

約3週間

放射線療法: 週5日 **5週間**(25回)  
ホルモン療法: **5年~10年**

経過観察  
**10年**

【3割負担の金額】  
約23万円

【3割負担の金額】  
FEC療法 1回 約2.6万円  
DOCE療法 1回 約3.5万円

放射線療法 【3割負担】: 約14万~21万  
(毎回の支払い 5000円~8000円)  
ホルモン療法【3割負担】:  
抗エストロゲン薬 1年間内服の場合 約3.5万円  
アロマターゼ阻害剤 1年間内服の場合 約5.4万円

# 相談内容



1年半前に、乳がんの部分切除手術（温存術）を受け、術後化学療法・ホルモン療法のため、定期通院をしてきました。症状も安定し、半年前に接客業に復職をしました。上司には通院していることを伝えていますが、はっきりとした病名までは伝えていません。

先日、受診をしたら、放射線治療をしてみないかと医師から言われました。治療のために頻繁に仕事を休むことになると、職場には迷惑をかけてしまうし、医療費もかかってくるだろうし…。

できれば仕事は続けていきたいですが、こんな状態で仕事を続けられるでしょうか？上司にもなんて伝えればよいか…。でも、仕事を辞めたら生活できないし…。

## \* 両立支援面談①

### <仕事内容の確認>

- 販売業。7年目。正規雇用。
- 立ち仕事、電話対応・接客対応が多い
- フルタイム8時間勤務、シフト制。残業はほぼない。

### <その他>

- 仕事を休職している間の経済面が心配。  
（傷病手当金は1年4か月受給している）
- 介護事務の資格を持っている



### <自覚症状、職場への伝え方>

- 倦怠感があり、長時間の立ち仕事が辛い
- 上司には病名と通院頻度のみ伝えている。近い同僚には伝えていない。

### <本人のこれまでの工夫>

- 主治医と相談して、化学療法の日程を調整。シフトで休み希望を出し、通院。
- 体調が優れない日は、有給のほか時間休をもらっている
- 化学療法の副作用で頭皮の脱毛あり。  
ウィッグを活用して、同僚に分かられないようにしてきた。

### <ソーシャルワーカーのアセスメント>

- 職場で配慮があれば、仕事を続けたい気持ちがある
- 勤務形態や休暇制度について、知識がない
- 上司・同僚にどの程度、病気のことを開示していくか迷っている

## <プラン>

- ・**現職への復帰＝出勤制度の活用** \*ガイドラインを活用

時差出勤制度、短時間勤務制度、試し出勤制度？

パートへ切り替えることで働きやすくなる？

- ・**休暇制度の活用**

職場の休暇制度はどのようなしくみになっているのか？

- ・**長期療養者就職支援事業**の利用

本人が希望する就業環境に合う求人情報をハローワークから集めておく

\* まずは自分で職場に休暇制度を確認してもらう

\* 上司に身体症状を打ち明けたあと、業務負担を軽減させてもらえるか相談

⇒ その後改めて相談室に来室いただくことに



# \* 主治医との情報共有、医師のコメント

【診断名】右乳がん ステージⅡA

【治療方針】

乳房部分切除後の術後は経過良好。

放射線治療により、再発を防ぐ可能性は高くなる。

26回照射予定。おおよそ1ヵ月半は平日通院が必要。時間調整は可能。

【就業に関する留意事項】

体調不良時は診察時に申し出ること。

仕事、放射線治療の双方を休んでください。

【その他生活の留意事項】

皮膚炎（ヒリヒリした痛みや赤み）が出た際には、引っかかないように

## \* 両立支援面談②～④

### <職場との話し合いの結果>

- 病名と自覚症状を職場全体で共有。  
言いにくいところ（配慮してほしい業務内容）は上司が代弁してくれた。
- 有給休暇 あと35日 時間休・半日休がとれる
- 主治医からの診断書を求められた
- 今後、パート勤務への変更も検討していくことに

### <主治医との調整>

- \* 夕方の時間帯で放射線治療を実施
- \* 診断書の記載内容を本人と主治医と一緒に検討  
「○/○～○/○まで療養が必要だが、円滑な復職のため、  
勤務時間や勤務日数を短縮することが必要」

# \* フォローアップ

- 本人から人事部にも確認してもらおうと、一定期間は病休も可能であったため、有給休暇・傷病手当金（残り2ヵ月）・病休を利用し、復帰時期を検討
- 焦って復職したり、勤務形態の変更はしない
- ハローワークの長期療養者就職支援事業に登録

## ●トライアングル型支援とは

「トライアングル型支援」とは、両立支援コーディネーターが労働者（患者）に寄り添いながら、継続的に相談支援を行いつつ、主治医・企業・雇保協と連携・調整を行い、治療と仕事の両立プラン作成などの支援を進めていく仕組みのことです。



### 両立支援 コーディネーター の担い手

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| ①医療機関の両立支援コーディネーター        | ●医療ソーシャルワーカー ●看護師 等 |
| ②企業の両立支援コーディネーター          | ●人事労務担当者 ●雇保健スタッフ 等 |
| ③雇保健総合支援センターの両立支援コーディネーター | ●両立支援促進員 等          |

# 課題

- 「治療と仕事の両立支援」が周知されていない
- 医療側も企業側も、経験が不十分
- 両立支援コーディネーターの経験も不十分
- 医療側のハードルを低くしていきたい
- がん相談支援センターや医療ソーシャルワーカー、産保センター両立支援促進員等の活用を
- 「病院から診断書もらってきて。そういえば、病院に間に入ってくれる窓口があるらしいから、行ったほうがいいよ。」



ご清聴ありがとうございました